

百貨店来店者を対象とした駐車場マップの作成とその効果

東北工業大学大学院 学生会員 ○成田 真也
 東北工業大学 正会員 中井 周作
 東北工業大学 正会員 菊池 輝

1. はじめに

宮城県内の交通機関分担率は、乗用車への依存が進んでおり（約 8 割，2007 年）¹⁾，仙台市都心地区では、駐車場の待ち行列渋滞が、通過交通やバス交通の妨げになっている。都心活性化や環境問題の視点等から、この待ち行列を減少させることが重要である。本研究では仙台三越来店者を対象とした調査を行い、駐車場分散・待ち行列減少の可能性を検討する。具体的には、現状調査をもとにし、駐車場分散のために必要な提供情報を整理し、適切なコミュニケーションツール ParkingNAVI を作成することにより、利用駐車場分散を目指す。さらに、ParkingNAVI の利用者に対する 1 年後の利用状況調査を実施し、その効果を分析することとする。

2. 現状調査

2.1 アンケート調査

調査は平成 24 年 10 月 27-28 日に、直接配布郵送回収の方式で実施した。配布場所は、仙台三越本館・定禅寺通り館駐車場 5 カ所，仙台三越本館入り口，仙台三越定禅寺通り館地下 3 階地下鉄連絡通路の 7 カ所を選定した。配布数は計 1,177 部であり有効回答数は 715 部（60.75%）であった。

主な調査項目は、以下の通りである。

- (1) 駐車場を選んだ理由：「仙台三越の無料駐車券が使えるため」「他に立ち寄る場所があったため」「仙台三越に近いため」「別の利用したい駐車場が満車だったため」「車体（3 ナンバー，高さ）の制限があったため」「いつも利用しているため」「深く考えずに選んだ」「その他」から選択させた。
- (2) 契約駐車場認知度：仙台三越契約駐車場を何カ所知っているか実数で尋ねた。

2.2 契約駐車場満車状況調査

アンケート調査の配布時間帯に、1 時間に 1 回駐車場を巡回し、満車標示を目視で確認した。

2.3 本館駐車場入庫待ち時間調査

アンケート調査の配布時間帯において、本館駐車場への入庫待ち行列に到着した時間から、実際に入庫するまでの時間を全入庫車について計測した。

3. 集計結果

3.1 駐車場を選んだ理由

本館・定禅寺通り館駐車場を選んだ理由として、「無料駐車券が使える」「三越に近い」という回答が多い。これは本館等駐車場のみが持つ特質ではないため、「事実」が適切に認知されていない可能性が示唆される。すなわち、このことが本館・定禅寺通り館駐車場への集中の一要因と考えられる¹⁾。また「深く考えずに選んだ」という利用者に対しては、適切な動機付けを行うことにより、契約駐車場への分散が可能だと考えられる。

3.2 契約駐車場認知度

本館・定禅寺通り館駐車場利用者の平均認知度（約 2 カ所）が低く、ほとんど認知されていないと言える。

3.3 契約駐車場満車状況

本館・定禅寺通り館は満車標示になっていない時間帯でも、入庫待ちの行列が敷地外で発生していた一方で、契約駐車場に関しては非満車標示がほとんどであった。特に仙台三越から徒歩 3 分程度の契約駐車場でも、全ての時間帯で 1 度も満車標示にならなかった駐車場が存在した。

キーワード 駐車場分散，コミュニケーションツール

連絡先 〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35-1 東北工業大学大学院土木工学専攻 TEL 022-305-3517

4. コミュニケーションツールの作成

現状調査に基づき、コミュニケーションツール作成のポイントを以下に整理する。

- ・ 契約駐車場に関する事実情報が適切に認知されていない状況に対応し、契約駐車場のサービス・場所・三越までの徒歩時間・車種制限や営業時間等の事実情報を掲載する。
- ・ 「深く考えずに駐車場を選択」している利用者に対し、適切な動機付けを誘引するために、入庫待ち時のアイドリングによる排出される環境負荷量 (CO₂ 排出量) やガソリン消費量を掲載する (図 1)。
- ・ 駐車場選択が習慣化している利用者にとって、行動変容は大きな負荷となる。その負荷を可能な限り軽減するために、三越周辺の一方通行路・駐車場へ入庫方向・都心部への進入方面別に利用しやすい駐車場を分かりやすく掲載した。

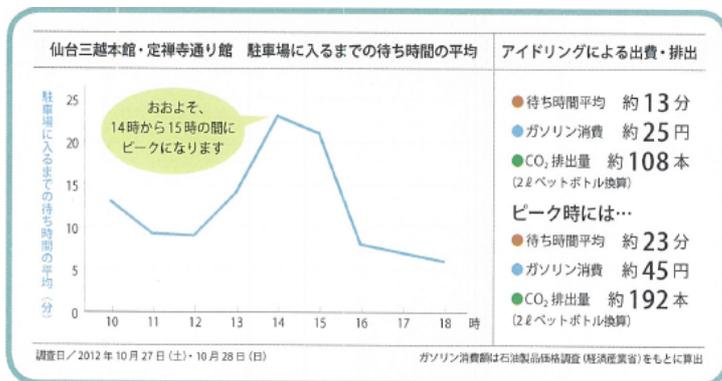


図 1 コミュニケーションツールの一部

5. コミュニケーションツールの効果

調査は平成 25 年 12 月に、郵送で配布・回収した。対象者は、平成 24 年 11 月 24-25 日に ParkingNAVI を配布した人のうち追跡調査に同意頂いた 12 名である。回答は 11 名から得られた。

5.1 ParkingNAVI 利用に関する現状

11 名中 6 名が ParkingNAVI を「現在も利用している」と回答した。その保管場所としては、利用している人 6 名中 5 名が「車の中」、1 名が「持ち歩いている」という回答であった。これは昨年度の事前アンケートから抽出した「行動変容させるための要因」としての、「記載情報の契約駐車場でも無料駐車券が利用できるという情報」「駐車場の営業時間などの情報」がコンパクトにまとめられていることに加え、行動変容の負荷を軽減する諸般の工夫が ParkingNAVI の持続的な利用に繋がったと言える。また、ParkingNAVI の大きさが車の中での保管や持ち歩きを可能にしたと考えられる。

5.2 本館・定禅寺通り館駐車場の利用頻度

ParkingNAVI を手にする前 (昨年 10 月頃) と今現在とで比較して、本館・定禅寺通り館駐車場を利用する頻度を聞いたところ、11 名中 2 名が「減った」と回答した。ParkingNAVI が駐車場選択に影響を与えた結果と言える。

5.3 仙台三越来店時の駐車場選択

どのような状況で本館・定禅寺通り館駐車場を利用するのかという設問については、本館・定禅寺通り館駐車場の利用頻度が変わらない人 9 名 (変化無群) と、減った人 2 名 (減少群) を 2 つのグループに分けて集計した。結果、上述の状況の中で、「仙台三越以外に立ち寄る予定や場所・施設がある」「経験や時間帯により本館・定禅寺通り館が渋滞していると思った時」の 2 つの状況においては、変化無群は概ね本館・定禅寺通り館駐車場を利用する一方で、減少群の 2 名は「本館・定禅寺通り館駐車場以外」を利用するという回答であった。その他の状況においては 2 群に差はないことから、利用駐車場分散のためには、「まちなか回遊時には契約駐車場がスムーズである」や「混雑情報のリアルタイム提供」の有効であると考えられる。

謝辞

本研究で実施した調査ならびにコミュニケーションツールの配布には、仙台三越株式会社の全面的協力を得た。また、コミュニケーションツール「Parking NAVI」は、株式会社ユーメディアとの協同制作である。

参考文献

1) 国土交通白書, 第 1 部第 2 章, P27, 2007.